



第93巻 第6号 史学・地理学・考古学

論 説

- 天和・貞享期の綱吉政権と天皇……………野 村 玄 (1)
- 契丹(遼)後期政権下の学僧と仏教……………藤 原 崇 人 (30)
——鮮演の事例を通して——
- 光緒戊戌年における反変法活動の意味……………八百谷 晃 義 (63)

研究ノート

- 中世「名を籠める」文書論……………萩 原 大 輔 (96)
——宝珠院現蔵文書のなかの籠名札・調伏札の紹介——
- 明治後期地方都市における商工名鑑的「繁昌記」の出版……………網 島 聖 (119)
——山内實太郎編「松本繁昌記」を事例に——

書 評

- 中西聡著『海の富豪の資本主義
——北前船と日本の産業化——』……………深 井 甚 三 (145)

紹 介

- 向南・張国慶・李宇峰編著『遼代石刻文統編』……………吉 本 智慧子 (151)
- クリストファー・ケリー著(藤井崇訳・南川高志解説)
『ローマ帝国』……………佐 野 光 宜 (152)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

受贈誌

げられる事例が東方世界中心であったことである。このことは読者にローマ帝国の広がりを意識させる効果もあるうが、かえって偏った印象を与えかねないとの危惧を抱いた。

しかしながら、このような瑕疵はささいなものにすぎない。著者が設定したテーマを貫くのは、ローマ（皇帝、過去としてのギリシア、キリスト教徒）が、いかに認識されたのかという問いである。そしてこれは、とりもなおさず、いま私たちがこれらをいかに認識するのかと問いかけてくる。ローマ史を研究すること、歴史を研究すること、それを通じて何を現代社会に対して提示するか、著者の姿勢を通じてさまざまに考えさせられる一書である。

最後に、翻訳調ではない読みやすい訳文と、丁寧な解説・読書案内が本書の価値を高めていることも付言しておきたい。

(B6版 一三六頁 岩波書店)

二〇一〇年二月 税別一八〇〇円)

(佐野光直 京都女子大学非常勤講師)

(二〇一〇年三月二六日)
二〇一〇年四月一五日)

RITSUMEIKAN LAW REVIEW (The
Ritsumeikan University Law Association) 一七

一橋研究 (一橋大学大学院一橋研究編集委員会) 三四—四 (通巻一六五)

日本歴史 (日本歴史学編集) 七四—三

栃木史学 (國學院大學栃木短期大学史学会) 二四

地域アカデミー 公開講座報告書 (広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座) 二〇〇九

新潟県立歴史博物館研究紀要 (新潟県立歴史博物館) 一〇

古代文化 (古代学協会) 六一—四

国立歴史民俗博物館研究報告 (国立歴史民俗博物館) 一五五

国立歴史民俗博物館研究報告 (国立歴史民俗博物館) 一五六

愛知大学文学論叢 (愛知大学文学会) 一四

一

同朋大學論叢 (同朋々大学同朋学会) 九四
史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内))
一一九—三

上海センター研究年報 東アジア経済研究
(京都大学大学院経済学研究所 附属上

海センター) 二〇〇七

上海センター研究年報 東アジア経済研究
(京都大学大学院経済学研究所 附属上

海センター) 二〇〇八—三

大東市史編纂史料目録 (大東市教育委員会) 第三集 新田村庄屋文書

大東市史編纂史料目録 (大東市教育委員会) 第四集 東家文書

東洋文化 (東京大学東洋文化研究所) 九〇
国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報
(大分県立歴史博物館) 豊後国山香郷一

社会学年誌 (早稲田社会学会) 五一
日本常民文化紀要 (成城大学大学院文学研

究科) 二八
東洋史研究 (東洋史研究会) 六八—四

経済論究 (九州大学大学院経済学会) 一三
六

社会経済史学 (社会経済史学会) 七五—三
日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国

社会科学院日本研究所中華日本学会) 二

〇一〇・一

関学西洋史論集（関学西洋史研究会）

XXXXIII

立命館文学（立命館大学人文学会）六一五

大倉山論集（大倉精神文化研究所）五六

アジア研究所所報（亜細亜大学アジア研究

所）一三八

湘南史学（東海大学大学院日本史学友会）

一九

史観（早稲田大学史学会）一六二

駿台史學（駿台史学会）一三九

史淵（九州大学大学院人文科学研究院）一

四七

アジア文化研究所研究年報（東洋大学アジ

ア文化研究所）四四

専修大学史紀要（専修大学 大学史資料

課）二

立命館産業社会論集（立命館産業社会学

会）四五—四

美術研究（東京文化財研究所）四〇〇

紀要 史学（中央大学文学部）五五

経済科学（名古屋大学大学院経済学研究

科）五七—四

福島県立博物館紀要（福島県立博物館）二

四

山口大學文學會志（山口大学文学会）六〇
信濃（信濃史学会）六一—四

韓国史研究叢報（韓国国史編纂委員会）一

四八

成大歴史学報（国立成功大学歴史学系）三

七

専修大学大学院社会知性開発研究センター

／東アジア世界史研究センター年報（専

修大学大学院社会知性開発研究セン

ター）三

専修大学大学院社会知性開発研究センター

／東アジア世界史研究センター年報（専

修大学大学院社会知性開発研究セン

ター）四

編集後記

九三巻六号をお届けします。今年の夏は、何もする気がおきてこないような暑さが延々と続く、記録的な猛暑でしたが、夏の終わりから、会員の皆様の夏休みの成果が続々と届いております。編集委員一同、嬉しい悲鳴をあげております。お陰様で、本号は、論説三本、研究ノート二本、書評一本、紹介二本と、久方ぶりに賑々しい表

紙の会誌をお届けすることができました。当然、量だけではなく、質も充実した誌面となっております。本年度号は、本号が最
終号となります。総目次にありますよう、
本年も会員のみならず多くの研究成果を
お届けすることができました。次年度以降
もよろしくお願いいたします。
(鍛治宏介)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.nii.ac.jp/shr/index.html>

本誌には独立行政法人日本学術振興会
平成二二年度科学研究費補助金（研究
成果公開促進費）が交付されております。

史 林 第九三巻第六号（通巻第四八四号）
二〇〇一年一月二五日印刷 定価一、二〇〇円
二〇〇一年一月三〇日発行

〒東京都左京区喜田本町京都大学大学院文学研究科内

電話（〇七五）七五三・二七八七

FAX（〇七五）七五三・二七八七

電 話（〇七五）七五三・二七八七

理 事 長 夫 馬 進

発行人 史 学 研 究 会

印刷所 中村印刷株式会社

〒東京都南区上島羽薬田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCIII No. 6

November 2010

CONTENTS

Articles :

- NOMURA Gen, The Government of Tokugawa Tsunayoshi and the Emperor during the Tenna-Jōkyō Period (1)
- FUJIWARA Takato, Scholar Monks and Buddhism during Latter Stage of Khitan (Liao) Dynasty: As Seen through the Example of Xianyan (30)
- YAOTANI Akiyoshi, The Meaning of the Anti-Reform Activities in the 24th Year of the Guangxu Era (63)

Note :

- HAGIHARA Daisuke, Research on the Medieval Documents Concerning the Act of “Confining a Name” (Na o Komeru) (96)
- AMIJIMA Takashi, The Compilation of ‘*Hanjōki*’ as, Accounts of Prosperity, Trade Directories for Local Cities during the Late-Meiji Era: A Case Study of Yamamoto Jitsutarō’s “*Matsumoto-Hanjōki*” (119)

Book review :

- NAKANISHI Satoru, *The Capitalism of Wealthy Merchants: The Kitamaebune and Japan’s Industrialization*. (FUKAI Jinzo) (145)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円(税込)

ISSN 0386-9369